

別役実 作品年譜とその時代

全戯曲と受賞年譜

演劇界の動き

社会の動き

1937 昭和12 1938 13 1939 14 1940 15 1941 16 1942 17 1943 18

満州国特別市に生まれる

松竹株式会社発足
文学座結成

文学座創立第1回公演『みことな女』（森本薫作）

築地小劇場株式会社発足

新協・新築地両劇団に解散命令
入場税実施

丸山定夫ら苦楽座旗揚げ
文学座の丸山定夫「富島松五郎伝」初演
宇野重吉ら瑞穂劇団を結成、農山漁村巡演開始

滝沢修、青山杉作ら芸文座を結成、『三笑』初演

劇場

築地小劇場、国民新劇場と改称

日中戦争

太平洋戦争

日・独・伊三国同盟調印

1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1959 | 1960 | 1961 | 1962 | 1963 | 1964 | 1965 | 1966 | 1967 | 1968 | 1969 | 1970 |
| 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 |

14 街と飛行船 (演) 末木利文 青俳) ●第5回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞
 13 黄色いパラソルと黒いコモリ傘 (演) 古林逸朗 演劇企画集団66)
 11 不思議の国のアリス (演) 早野寿郎 俳優小劇場) 12 アイ・アム・アリス (演) 早野寿郎 俳優小劇場)
 10 スパイものがたり (演) 古林逸朗 演劇企画集団66) ※別役戯曲唯一のミュージカル作品

9 或る別な話 (演) 鈴木忠志 早稲田小劇場研究公演)
 ●舞台創造上の方法の相違から、早稲田小劇場を離れる
 ●『マッチ売りの少女』『赤い鳥の居る風景』で第13回岸田戯曲賞受賞
 7 カンガルー (演) 藤原新平 文学座) 8 赤い鳥の居る風景 (演) 観世栄夫 演劇企画集団66)
 6 マクシミリアン博士の微笑 (演) 鈴木忠志 早稲田小劇場)

5 マッチ売りの少女 (演) 鈴木忠志 早稲田小劇場)
 3 門 (演) 鈴木忠志 早稲田小劇場) 4 墮天使 (演) 古林逸朗 演劇企画集団66)
 青年芸術劇場(青芸)が、改作『象』を上演 (演) 観世栄夫)

2 象 (演) 鈴木忠志 新劇団自由舞台)
 ●鈴木忠志・小野碩らと新劇団自由舞台(後の早稲田小劇場)を結成

1 AとBと一人の女 (演) 鈴木忠志 早大劇団自由舞台)
 新島基地闘争に参加

授業料未払いで抹籍。この頃ベケットを読む

東京キッドブラザース、ニューヨークで『黄金バット』上演(半年間)
 流山晃祥ら、『演劇』結成、竹村邑ら『ザ・スーパード・カムパニー』結成
 RSC初来日『冬物語』など上演

『少女都市』公演中の状況劇場と天井棧敷が乱闘
 状況劇場の日本列島南下興行開始
 新人会解散。渡辺美佐子ら『兆』発足、元新人会若手『反』結成
 天井棧敷初の海外公演、フランクフルトで『大神』など上演

A・ウェスカール来日、シンポジウムと三部作上演
 青俳解散、蛭川幸雄ら劇団『現代人劇場』結成
 三島由紀夫ら劇団『浪漫劇場』結成。劇団『転形劇場』発足
 自由劇場、六月劇場・発見の会が連絡組織『演劇センター68』結成

俳優座養成所、16期生を最後に閉所(桐朋学園短大演劇科発足)
 寺山修司ら、演劇実験室『天井桟敷』設立

紀伊國屋演劇賞第1回(団体賞・劇団青俳)
 佐藤信、串田和美ら劇団自由劇場結成
 早稲田小劇場結成
 福田善之らの『青芸』解散、佐伯隆幸らが劇団『六月劇場』結成

渡辺浩子演出『ゴドーを待ちながら』、民藝で上演
 瓜生良介らが『発見の会』、竹内敏晴らが演劇集団『変身』結成
 山本安英らの『ぶどうの会』解散

東宝ミュージカル『マイ・フェア・レディ』ヒット
 文学座分裂、福田恒存、芥川比呂志らが劇団『雲』結成
 ローレンス・オリビエ、ナショナルシアター初代芸術監督になる
 唐十郎らが劇団『状況劇場』結成(翌年『恭しき娼婦』で旗揚げ公演)
 コメディ・フランセーズ初来日、『プリタニキユス』などを上演

森光子『放浪記』初演
 エスリーン『不条理の演劇』発刊
 劇団民藝が久保栄『火山灰地』一部・二部を一挙上演
 松本幸四郎(白鷗)、染五郎(現幸四郎)ら、松竹から東宝へ移籍
 初の訪中新劇公演、『夕鶴』『女の一生』などを上演
 国会請願デモ中の安保阻止新劇人会議メンバー34人が右翼に襲われ負傷
 文学座でベケットの『ゴドーを待ちながら』を日本初演
 早野寿郎、小沢昭一、楠侑子らが劇団『俳優小劇場』を結成



パネル右に続く

演劇センター68/70、黒テント公演開始

青年座劇場開場
 天井棧敷館開場

岩波ホール開場
 池袋アートシアター(後のシアターグリーン)開場

状況劇場の紅テント、花園神社に初登場
 アンダーグラウンド蠅座開場

国立劇場開場
 帝国劇場、現在地に落成、開場
 劇団自由劇場、アンダーグラウンドシアター自由劇場開場
 早稲田小劇場、喫茶店『モンシエリ』2階に劇場開場
 変身『代々木小劇場』で公演開始
 (70年テアトル・エコー小劇場に)
 テアトル・エコー『屋根裏劇場』開場

紀伊國屋ホール開場

夜9時半より演劇公演開始
 アートシアター新宿文化(映画館)で
 日生劇場開場

日本万国博覧会(大阪)開催

中東戦争始まる

中国文化大革命起こる

東京オリンピック開催
 北爆開始

ケネディ米大統領暗殺される

アメリカ、キューバと国交断絶

日米新安全保障条約調印

上成功

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1959 | 1960 | 1961 | 1962 | 1963 | 1964 | 1965 | 1966 | 1967 | 1968 | 1969 | 1970 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

1971 46 1972 47 1973 48 1974 49 1975 50 1976 51 1977 52 1978 53 1979 54 1980 55 1981 56 1982 57 1983 58

15 《ポニコツ車と五人の紳士》(演 飯島岱 群像座)
16 《そよよ族の叛乱》(演 安井武 俳優座)
17 《青い馬》(演 渡辺治美 スタジオ・ノーヴァ)
18 《猿、もしくは断食芸人》(演 末木利文 五月舎)
19 《移動》(演 早野寿郎 手の会)
20 《海とうさぎ》(演 早野寿郎 俳小スタジオ・ノーヴァ)
21 《山崎正和、末木利文らと「手の会」結成》
22 《死体のある風景》(演 古林逸朗 歌手リリーのコンサート)
23 《数字で書かれた物語——死のう団》(演 顛末記) (演 藤原新平 文学座)
24 《椅子と伝説》(演 末木利文 手の会)
25 《ラジオドラマ「黄色い日曜日」》(演 瀬川新一 ぐるーぷ・くすく)
26 《正午の伝説》(演 末木利文 グループ・ナック)
27 《バス停のある風景》(演 末木利文 グループ・ナック)
28 《あーぶくたつた、にいたつた》(演 藤原新平 文学座)
29 《壊れた風景》(演 高橋昌也 演劇集団)
30 《場所と思ひ出》(演 末木利文 手の会)
31 《にしむくさむらい》(演 藤原新平 文学座)
32 《天才バカボンのパパなのだ》(演 藤原新平 文学座)
33 《舞え舞えかたつむり》(演 村井志摩子 かたつむりの会 十日高企画)
34 《海ゆかば水漬く屍》(演 藤原新平 文学座)
35 《虫たちの日》(演 岸田良二 ジアン・シアタープロデュース)
36 《天神さまのほそみち》(演 藤原新平 文学座)
37 《マザー・マザー・マザー》(演 末木利文 手の会)
38 《霧田気のある死体》(演 高橋昌也 演劇集団)
39 《赤色エレジー》(演 藤原新平 文学座)
40 《木に花咲く》(演 石澤秀二 青年座)
41 《受付》(演 村井志摩子 かたつむりの会 十日高企画)
42 《病氣》(演 藤原新平 文学座)
43 《虫つくし／ある別な話》(演 藤原新平 木山事務所)
44 《その人ではありません》(演 村井志摩子 かたつむりの会 十日高企画)
45 《そして誰もいなくなった》(演 藤原新平 本多劇場プロデュース)
46 《太郎の屋根に雪降りつむ》(演 藤原新平 文学座)
47 《会議》(演 末木利文 手の会)
48 《足のあつた死体》(演 村井志摩子 かたつむりの会)
49 《メリーさんの羊》(演 岸田良二 ジアン・シアタープロデュース)
50 《星の時間》(演 村井志摩子 かたつむりの会)
● 第11回テアトロ演劇賞受賞

寺山修司死去
井上ひさしを座付き作者とする「こまつ座」創立
唐十郎「佐川君からの手紙」で芥川賞受賞
平田オリザ「青年団」を結成、坂手洋二「燐光群」結成
天井棧敷「レミング」再演、この後寺山修司病氣療養のため演出休止
関西の「そばこまち」、初の東京公演、「善人会議」結成
オンシアター自由劇場「上海パンスキング」、博品館劇場でも大ヒット
シェイクスピア・シアター6年がかりでシェイクスピア全37本上演達成
夢の遊眠社、初の紀伊國屋ホール公演「少年狩り」、第三舞台結成
小田島雄志、個人全訳「シェイクスピア全集」全7巻、7年で
山崎哲ら、「転位・21」結成、第三エロチカ、加藤健一事務所設立
北村想主の劇団「T・P・O師★団」が「寿歌」を東京で上演
蜷川幸雄「NAGAWAマクベス」を日生劇場で演出
劇団青俳倒産
四季がミュージカル「コーラス・ライン」日本初演
安部公房スタジオ「仔象は死んだ」上演を最後に活動停止
バルコ・ドラマ・フェスティバルに夢の遊眠社はじめ5劇団参加
渡辺えり子(現えり)主宰の劇団200(300の前身)旗揚げ公演
『その妹』山脈、イブセン3作連続上演などリアリズム演劇復興
東京キッドブラザース、年間6作品、300ステージ
岡部耕大、竹内銃一郎ら、つかに続いて戦後世代の劇作家台頭
オールメールの「お気に召すまま」「王女メデア」など女装劇流行
横山由和らの「音楽座」旗揚げ公演
柄本明ら「東京乾電池」結成
野田秀樹を中心に劇団「夢の遊眠社」結成
つかこうへい事務所、紀伊國屋ホールに進出、空前のブーム
文学座 夢桃中軒牛右衛門の「に中国大使館が抗議」
出口典雄主宰、劇団「シェイクスピア・シアター」結成
芥川比呂志、岸田今日子らが、雲を脱退し、演劇集団「円」結成
つかこうへい事務所と青山のVAN99ホールが提携、連続上演開始
仲代達矢の無名塾、鳥獣戯画結成
早野寿郎らの劇団「俳小」旗揚げ公演、小沢昭二「芸能座」結成
蜷川幸雄、日生劇場で東宝制作「ロミオとジュリエット」を演出
岩波ホール第1回演劇公演、鈴木忠志構成・演出「トロイアの女」上演
安部公房を中心に、田中邦衛ら「安部公房スタジオ」結成
劇団三十人会解散
RSC来日、P・ブルック演出「夏の夜の夢」上演
井上ひさし「手鎖心中」で直木賞、「道元の冒険」で岸田國士戯曲賞受賞
文学座アトリエでシェイクスピア・フェスティバル、3作上演
早稲田小劇場初の海外公演、パリの諸国民演劇祭に参加
状況劇場初の海外公演、ソウルで「二都物語」上演
民藝から鈴木瑞穂ら、俳優座から市原悦子らが、それぞれ大量退団
「すまけいと」の仲間解散
本田延三郎によるプロデュース体「五月舎」発足

プルチネラ開場
タイニイ・アリス開場
日産別館ビル内に新橋演舞場新装開場
アトリエ・フオンテアヌ開場
シアターアプル開場
バルコ・スペース・パート3開場
本多劇場開場
ザ・スズナリ開場
三越ロイヤルシアター開場
俳優座劇場新装開場
東演パラータ開場(82年より他劇団にも開放)
サンシャイン劇場開場
博品館劇場開場
VAN99ホール開場
東京キッドブラザース、シアター365開場
早稲田小劇場、富山県利賀村に利賀山房開場

沖繩復帰
第4次中東戦争起こる
ウォーターゲート事件
ベトナム戦争終わる
ロッキード疑獄事件

1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983



109 帰ってきたピノッキオ (演) 小森美巳 演劇集団円 ●第39回「毎日芸術賞特別賞受賞」
 107 山猫理髪店 (演) 末木利文 木山事務所プロデュース 108 ホクロのある左足 (演) 藤原新平 兵庫県立ピッコロ劇団
 ●日本劇作家協会2代目会長に就任 106 月と卵 (演) 村井志摩子 かつむりの会
 105 いぬもあるけばぼうにあたる (演) 岸田良二 俳優座劇場プロデュース

●平成9年度兵庫県文化賞受賞
 104 雨が空から降れば (演) 藤原新平 文学座 ▼テレビドラマ「唄を忘れたカナリヤは……」 (演) 大原誠
 103 さらっていつてよピーターパン (演) 秋浜悟史 兵庫県立ピッコロ劇団
 102 もうひとりの飼主 (演) 村井志摩子 かつむりの会
 100 金欄織子の帯しめながら (演) 杉本正治 文学座 101 春のうらの隅田川 (演) 岸田良二 演劇集団円

99 クラムボンは笑った (演) 村井志摩子 かつむりの会
 ▼テレビドラマ「狼——断食芸人より」 (演) 橋高幸三
 98 遊園地の思想 (演) 岸田良二 俳優座劇場プロデュース

96 雛 (演) 杉本正治 文学座 97 ねこ・こんさるたんと (演) 村田大演劇集団円
 ▼テレビドラマ「一日三回食後に服用・よひんびん物語」 (演) 大原誠
 94 六月の電話 (演) 村井志摩子 かつむりの会 95 この道はいつか来た道 (演) 末木利文 木山事務所
 93 風の中の街 (演) 藤原新平 兵庫県立ピッコロ劇団

91 森から来たカーニバル (演) 岸田良二 演劇集団円 92 鼻 (演) 藤原新平 文学座
 90 消えなさいローラ (演) 村井志摩子 かつむりの会
 89 ピンクの象と五人の紳士 (演) 岸田良二 俳優座劇場プロデュース

88 風に吹かれてドンキホーテ (演) 小森美巳 演劇集団円
 86 魔女の猫探し (演) 村井志摩子 かつむりの会 87 窓から外を見ている (演) 石川耕士 文学座
 85 はる・なつ・あき・ふゆ (演) 末木利文 日本劇団協議会十木山事務所

84 カラカラ天気と五人の紳士 (演) 岸田良二 俳優座劇場プロデュース
 83 わが師・わが街 (演) 岸田良二 演劇集団円、中村伸郎追悼公演
 81 とうめいなすいさいが (演) 古林逸朗 演劇企画集団66

80 猫ふんじやった (演) 藤原新平 文学座
 ▼テレビドラマ「人間到る処青山あり」 (演) 大原誠
 79 寝られます 魔女ものがたり、その2 (演) 村井志摩子 かつむりの会

77 山猫からの手紙——イーハトーボ伝説 (演) 藤原新平 文学座 78 歌うシンデレラ (演) 國峰眞 演劇集団円
 76 招待されなかつた客 魔女ものがたり、その1 (演) 村井志摩子 かつむりの会
 75 眠れる森の美女 (演) 岸田良二 演劇集団円

74 卵の中の白雪姫 (演) 小森美巳 演劇集団円
 72 青ひげと最後の花嫁 (演) 藤原新平 文学座 73 ドラキュラ伯爵の秋 (演) 末木利文 パルコ十木山事務所
 70 いかげしむ (演) 村井志摩子 かつむりの会 71 アカイツキ (旧真空艦に書き下ろされたが未上演)

68 すなあそび (演) 古林逸朗 演劇企画集団66 69 ももからうまれたももたらう (演) 藤原新平 文学座
 67 向う横町のお稲荷さん (演) 村井志摩子 かつむりの会
 66 もーいーいーいーい、まーだだよ (演) 岸田良二 演劇集団円

65 諸国を遍歴する二人の騎士の物語 (演) 岸田良二 パルコ ●芸術選奨文部大臣賞、読売文学賞受賞
 ◎星の街のものがたり (演) 古林逸朗 演劇企画集団66 ◎ふなや (演) 古林逸朗 演劇企画集団66
 63 ジョバニの父への旅 (演) 藤原新平 文学座 64 トイレはこちら (演) 村井志摩子 かつむりの会

62 赤ずきんちゃん森の狼たちのクリスマス (演) 小森美巳 演劇集団円
 60 白瀬中尉の南極探検 (演) 末木利文 手の会 61 さらだ殺人事件 (演) 藤原新平 文学座
 59 湯たんぽを持った脱獄囚——求むな、されど与えられん (演) 村井志摩子 かつむりの会

58 夕空はれて——よくかきくうぎやく (演) 藤原新平 文学座
 55 窓を開ければ港が見える (演) 末木利文 俳優座劇場十木山事務所
 56 部屋 (演) 村井志摩子 かつむりの会 57 おたまじゃくしはかえるの子 (演) 高橋昌也 演劇集団円
 ●児童福祉文学賞、斎田喬賞、東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞
 54 不思議の国のアリスの帽子屋さんのお茶の会 (演) 小森美巳 演劇集団円
 52 街角の事件 (演) 末木利文 手の会 53 ハイキング (演) 藤原新平 文学座
 51 眠っちゃいけない子守唄 (演) 村井志摩子 かつむりの会

渡辺浩子新国立劇場演劇監督、矢代静一死去
 東京芸術座、東演がともに結成40周年で「どん底」を競演
 「ディア・ライアー」「ミザリー」「笑いの大学」など2人芝居が人気
 彩の国シエクスピア・シリーズ、全戯曲上演を目指してスタート
 文学座創立60周年、杉村春子、三津田健、金杉忠男死去
 創立25周年を前に、渡辺えり子の劇団300解散
 五三郎で「夕鶴」、加藤剛で「夜明け前」、伝説の舞台よみがえる
 中堅劇作家の秀作、新劇団への書き下ろし目立つ

オンシアター自由劇場活動停止
 関西の劇作家、劇団の東京進出が目立った
 三谷幸喜、「嵐流島」など3本の新作を書き、ブームに
 文学座「女の一生」、杉村春子から平淑恵に、バトンタッチ
 松本克平、古橋悌二、田中千夫死去
 中国、韓国を中心としたアジア演劇との交流盛ん
 社会不安と景気不安が演劇界も直撃
 TOKYO演劇フェア95、戦後一幕物傑作選など、戦後50年を問う

千田是也、東野英治郎、乙羽信子、飯沢匡、福田恆存死去
 エイズやセクハラを描いた新作の翻訳上演が目立った
 俳優座系5劇団による合同公演「座・新劇」、青年座新作4本連続上演
 英国帰りの野田秀樹、NODA・MAP「ギル」で第1回公演
 山本安英死去
 チェーホフ「三人姉妹」が秋だけで7劇団が競演
 寺山演劇の上演相次ぎ、その実験精神に若手が注目
 デビッド・ルボーはじめ、外国人演出家の起用目立つ

『シアターガイド』創刊
 大地喜和子事故死
 大劇場演劇ではミュージカルの占める割合が激増、ロングラン化
 夢の遊眠社「ゼンダ城の虜」でラスト公演

中村伸郎死去、五月舎解散、雑誌「んげき」休刊(92年「レ・スペック」に)
 歌舞伎座12カ月間売上の大入り、人気盛り上がる
 「七人みさき」「山ほととぎす」、秋元松代作品がひと月に3劇場で競演
 空前の海外公演ラッシュ、英国のジャパン・フェスティバルには14団体が参加
 新劇団協議会が日本劇団協議会に名称変更(法人化は92年)
 没後20年の三島由紀夫作品「近代能楽集」全曲「サド公爵夫人」上演
 文学座アトリエの会「グリース」三部作、9時間半の上演
 来日6公演含め、17本もの「ハムレット」が上演される
 演劇団解散/宮沢章夫、「遊園地再生事業団」結成

ベケット死去
 国内各地で演劇フェスティバル盛ん
 坂東玉三郎、ワイタ演出「オナスタシヤ」でベニサン・ピット出演
 杉村春子「女の一生」全国巡演、滝沢修13年ぶりの「炎の人」
 松本修ら劇団「MODE」結成

宇野重吉、小沢栄太郎、宮本研死去
 転形劇場解散
 仮設劇場、下町唐座で「さすらいのジョニー」上演、唐組旗揚げ
 鈴木忠志演出、アメリカ4劇団合同「リア王」で全米を巡演

夢の遊眠社エジンバラ・フェスティバルに参加、初の海外公演
 「新宿梁山泊」結成
 「花組芝居」結成、「ザ・隅田川」で旗揚げ

「東京芝居」旗揚げ
 夢の遊眠社「石舞台屋七変化」三部作を代々木国立体育館で上演
 北村想「慧星86」を解散して、「プロジェクトナビ」結成

劇団健康(のちの「ナイロン1000」)結成
 成井豊を中心に演劇集団「キャラメルボックス」結成
 転形劇場が新拠点T2スタジオを開場
 新宿タイニー・アリスで初のフェスティバル開催
 早稲田小劇場、SCOTと改名
 流山児★事務所設立
 蜷川幸雄「蜷川スタジオ」結成
 白井晃らの「遊●機械/全自動シアター」旗揚げ

りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館開場
 梅ヶ丘BOXで燐光群公演開始
 四季劇場「春」・「秋」開場/王子小劇場開場
 TAKARAZUKA1000days劇場、東京に開場

「劇」小劇場開場
 世田谷パブリックシアター・シアター・トラム開場
 新国立劇場開場

富山市民芸術文化ホール(オーバード・ホール)開場
 紀伊國屋サザンシアター開場
 三鷹市芸術文化センター星のホール開場
 赤坂ミュージカル劇場開場

銀座みゆき館劇場開場
 彩の国さいたま芸術劇場開場
 浜町センタービル内に明治座新装開場
 OFF・OFFシアター開場
 新築のエコービルに恵比寿・エコー劇場開場
 アートスフィア開場
 テアトル・エコー劇場開場
 水戸芸術館ACM劇場開場
 東京芸術劇場開場
 三越ロイヤルシアター開場
 Bunkamuraシアターコクーン開場
 シアターサンモール開場
 相鉄本多劇場開場
 全労災ホールスペース・ゼロ開場
 東京グローブ座開場
 新宿シアターモリエール開場
 STSポット横浜開場
 銀座セゾン劇場、「カルメンの悲劇」で開場
 こまばアゴラ劇場開場
 扇町ミュージアムスクエア(大阪)開場
 近鉄劇場・小劇場(大阪)開場
 THEATER/TOPS開場
 スバイラルホール開場、ベニサン・ピット開場
 青山劇場・青山円形劇場開場
 駅前劇場開場

バブル景気始まる

崩壊

北京天安門事件
 ベルリンの壁崩壊

ドイツ統一

湾岸戦争
 ソ連邦消滅

欧州連合条約発効

地下鉄サリン事件
 阪神・淡路大震災

別役実 作品年譜とその時代

全戯曲と受賞年譜

演劇界の動き

劇場

社会の動き

「象」新国立劇場にて上演

133 らくだ (演) 山下悟 劇団民藝
132 風のセールスマン (演) 柄本明 トムプロジェクト

●第42回伊國屋演劇賞個人賞受賞

131 三匹の子ぶたのトンチンカン (演) 眞山直則 兵庫県立ピッコロ劇団
130 犬が西むきや尾は東―にむくさむらい―後日談― (演) 藤原新平 文学座
129 やってきたゴドー (演) 末木利文 木山事務所 ▼別役まつり

128 青い鳥ことりなぜなぜ青い―チルチルとミチルの冒険 (演) 小森美己 演劇集団円
127 夜と星と風の物語『星の王子様』より (演) 藤原新平 ACA

◎コミュニケーションズ (演) 渡辺えり子 新国立劇場
126 飛んで孫悟空 (演) 石本興司 兵庫県立ピッコロ劇団

125 コント・アラカルト当世殺人考 (演) 末木利文 木山事務所
124 トラップ・ストリート (演) 國峰眞 演劇集団円
123 賢治幻想 電信柱の歌 (演) 長谷川孝治 弘前劇場
122 神戸・わが街 (演) 藤原新平 兵庫県立ピッコロ劇団
121 千年の三人姉妹 (演) 藤原新平 アートスファイア プロデュース

●兵庫県立ピッコロ劇団代表に就任
120 たてばしゃくやくすわればぼたん (演) 藤原新平 兵庫県立ピッコロ劇団
119 むりがとおれば (演) 岸田良二 俳優座劇場 プロデュース

118 りんりんりんこの木の下で (演) 小森美己 演劇集団円
◎アチャラカ再誕生 (演) ケラリーノ・サンドロヴィッチ 空飛ぶ雲の上団五郎一座
117 はごろも (演) 末木利文 木山事務所 プロデュース

116 当世風雨月物語 (演) 國峰眞 演劇集団円
115 ちりもつもれば (演) 岸田良二 俳優座劇場 プロデュース

114 おまご (演) 藤原新平 兵庫県立ピッコロ劇団
113 最後の晩餐 (演) 藤原新平 文学座
112 青空・もんしろちよう (演) 末木利文 木山事務所 プロデュース、三木のり平 追悼公演

111 十六夜日記 (演) 村井志摩子 かたつむりの会
110 猫町 (演) 國峰眞 演劇集団円

「さよなら歌舞伎座」、改築のため4月で閉場

座・高円寺劇場
シアター711閉場
江古田ストアハウス閉場
ベニサン・ピット閉場
THEATER/TOPS閉場

シアターアプル、新宿コマ劇場閉場
赤坂ACTシアター新装開場

ルテアトル銀座が「ルテアトル銀座 by PARCO」となる
あうるすぽっと開場
SPACE 雑遊開場
小劇場「楽園」開場
シアタークリエ開場
天王洲銀河劇場開場
鳥の劇場(鳥取)活動開始
三百人劇場閉場
赤坂RED/THEATER開場

兵庫県立芸術文化センター開場
シアターグリーン 新装開場/新宿ゴールデン街劇場開場
THEATER1010開場/吉祥寺シアター開場
劇団黒テント、theatre wato開場
「放浪記」を最終公演として芸術座閉館

扇町ミュージアムスクエア閉場
まつもと市民芸術館開場
四季「キャッツ・シアター」開場(09年閉場、横浜へ)
近鉄劇場閉場

北九州芸術劇場開場
こまばアゴラ劇場全公演を劇場プロデュースに
シアター風姿花伝開場
四季「自由劇場」開場

富士見市市民文化会館キラリ★ふじみ開館
可児市文化創造センター(岐阜)竣工
電通四季劇場「海」開場

東京宝塚劇場新装開場

ジアンジアン閉場
ルテアトル銀座開場

ザムザ阿佐谷開場
銀座セゾン劇場閉場

9.11 アメリカ同時多発テロ

アメリカ、イラクへ侵攻(イラク戦争)

アメリカ・サブプライム・ローンの不良債権表面化

演 = 演出